

三陸沿岸道路 仙台・気仙沼直結から1年 ～ 秋期(10月)の交通量と新たな整備効果 ～

昨年11月、三陸沿岸道路小泉海岸IC～本吉津谷ICが開通してから、1年を迎えました。この間、本年3月には気仙沼市内の区間の完成により、宮城県内の三陸沿岸道路は全線開通しました。

このたび、秋期(10月※)の交通量をまとめましたので、お知らせします。あわせて、新たに取材した整備効果についても紹介します。

※宮城県内の新型コロナまん延防止等重点措置(R3.9.13～30)の解除後の状況

- 本年10月の交通量は、コロナ前(R1.10)と比較しても増加傾向。
 - 特に、昨年11月までの「飛び地区間」の交通量は約1.3倍※に増加。
※計測箇所:本吉津谷IC～大谷海岸IC
 - 飛び地区間以外も、市町村境の交通量は軒並み約1.1～1.2倍※に増加。
※計測箇所:宮城県 登米市～南三陸町(三滝堂IC～志津川IC)、南三陸町～気仙沼市(歌津北IC～小泉海岸IC)、気仙沼市～岩手県 陸前高田市(唐桑小原木IC～陸前高田長部IC)
- 一方、気仙沼市内の現道(国道45号)の交通負荷は軽減。
 - 現道の交通量は約3割減少し、大型車の割合も約4割減少。
 - 現道と三陸沿岸道路を合計した交通量は約1.2倍に増加(交流増加が推察)。
- 本年3月に公表した「復興道路10年パンフレット※」に掲載した整備効果に加えて、新たに取材した4テーマについてご紹介します。

※URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkoupanfu/index.html>

- [水産業] **お** いしく大きく！三陸生まれのカキを全国へ
- [林業] **カ** バーエリア拡大！三陸エリアの林業活性化へ
- [介護] **え** がおあふれる三陸へ！訪問介護の移動時間を短縮
- [観光] **リ** ピーター増加へ！三陸エリアの新たな観光戦略

<記者発表会：宮城県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ>

問い合わせ先

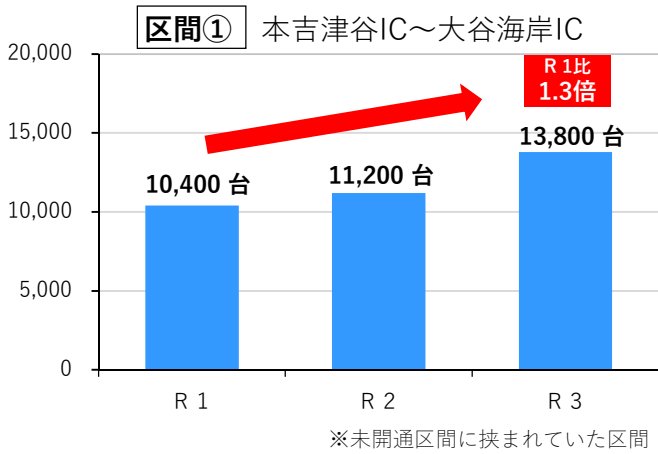
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL(022)-248-4131
調査第二課長 岩館 慶多(内線451)

三陸沿岸道路(宮城県) 秋期(10月) 交通量

仙台～気仙沼市、岩手県 直結により、交通量が順調に増加



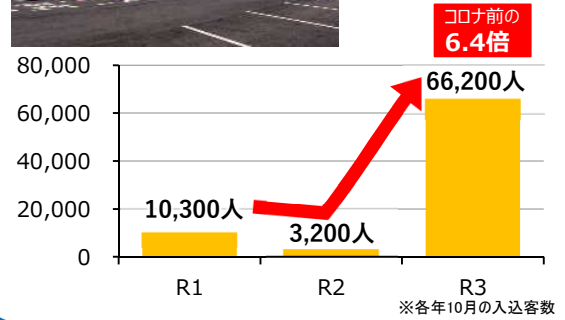
■ 飛び地区間(※) 1.3倍



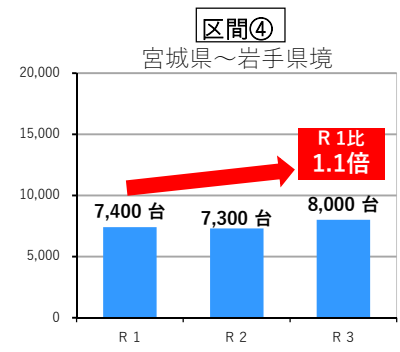
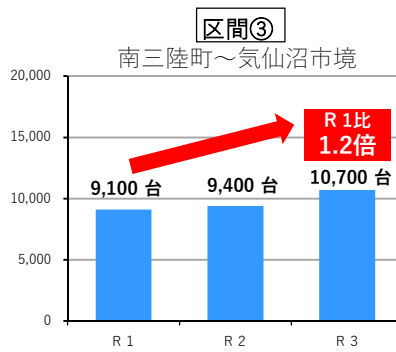
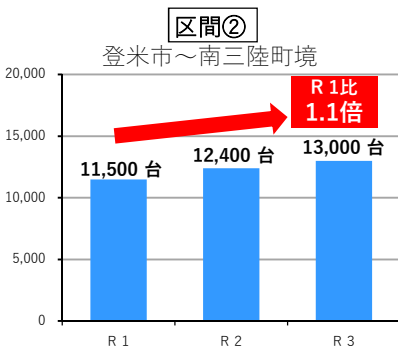
道の駅大谷海岸の入込客数



仙台から1時間52分
震災前2時間30分
(38分短縮)

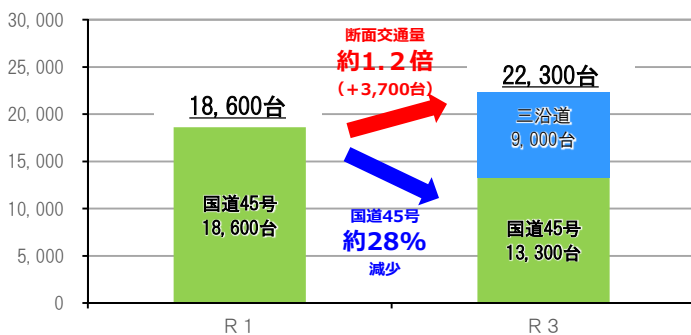


■ 市町境・県境 1.1～1.2倍

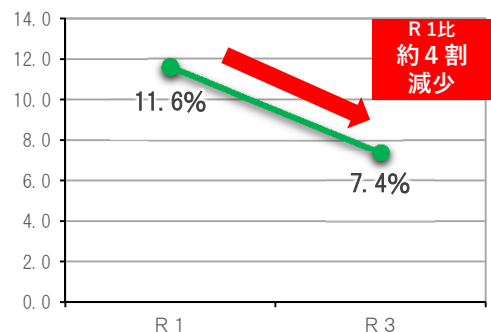


並行する現道(国道45号)交通量や大型車の割合が軽減(気仙沼市内)

■ 国道45号と三陸沿岸道路の断面交通量変化



■ 国道45号の大型車の割合の推移



資料 交通量観測結果(常時観測装置:24時間) 各年度10月の日平均交通量

おいしく大きく!三陸生まれのカキを全国へ

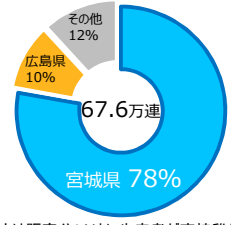
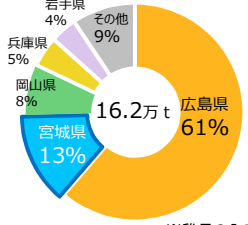


水産業

● 復興道路は、宮城の良質な稚貝を全国に運搬し、おいしい牡蠣の生産・出荷を応援しています!

石巻湾・松島湾から 牡蠣の赤ちゃんを三陸・全国へ

牡蠣の収穫量(左)と稚貝販売量(右)



宮城県は 稚貝販売の 全国シェア 圧倒的1位

※稚貝の入手方法は販売分以外に生産者が直接稚貝を採取する分もある。
出典:海面漁業生産統計調査(R1年度)

三陸沿岸・全国への稚貝輸送



三陸沿岸の養殖では 宮城県産の稚貝を使用

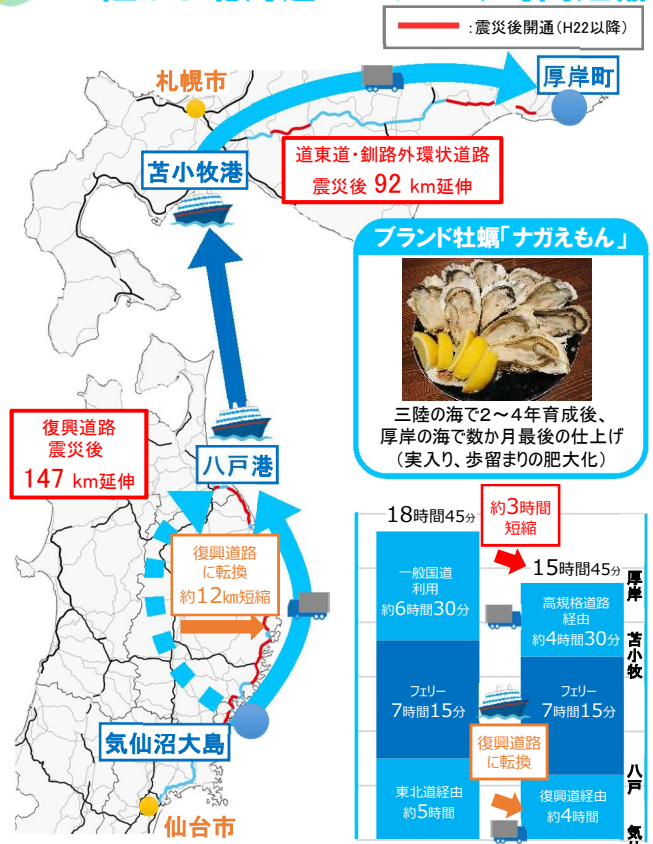
松島方面からの稚貝の搬入や、成長した牡蠣の出荷の際には、復興道路を活用しています。
(気仙沼市牡蠣養殖業者)



写真提供:(株)和がき

閉鎖的な湾形状と浅瀬、栄養豊富な汽水域が良質な稚貝を育む

ブランド牡蠣育成 三陸から北海道へのリレー、時間短縮



輸送時間が短縮し、フェリー出航時間に合わせた積み込みができ、時間に余裕が生まれるとともに、ドライバーの負担も軽減しました。
(気仙沼市牡蠣養殖業者)



出典:運送事業者・気仙沼市牡蠣養殖業者 ヒアリング

カ

バーエリア拡大!三陸エリアの林業活性化へ

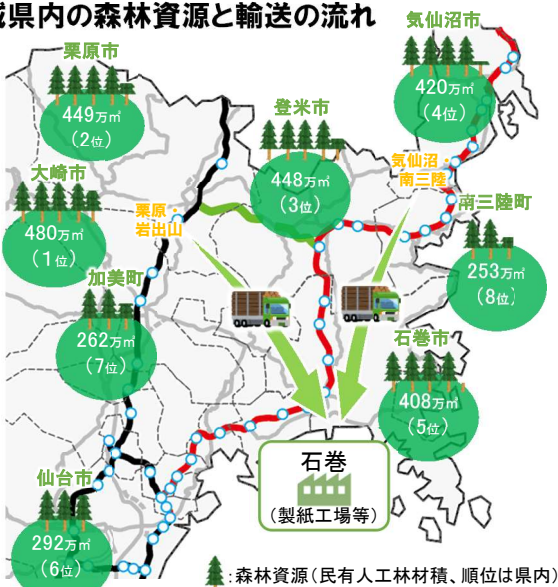


林業

● 復興道路は、時間短縮により林業の輸送効率の向上や出荷範囲の拡大を応援しています!

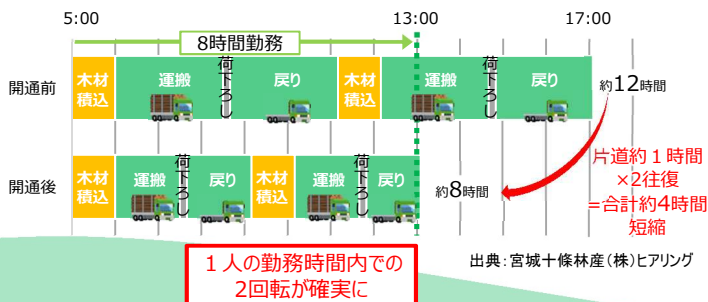
原木調達の輸送効率が向上

宮城県内の森林資源と輸送の流れ



出典: 安心と潤いのある暮らしを支えるみやぎの森林・林業 宮城十條林産(株)ヒアリング

原木輸送スケジュールの例 (気仙沼・南三陸周辺の山林～石巻)



県をまたいで、全国へ原木・木工品の出荷エリアが拡大



・山での作業となる原木積み込みは日中しか作業ができません。トラックに積み込むことができる量も限られており、運搬時間が短縮された効果は大きいです。

・復興道路の延伸により、釜石のバイオマス工場へ出荷を開始するなど、新たな顧客開拓により事業の幅が広がりました。将来的には宮古方面への輸送も視野に入れ、出荷量の増加を期待しています。

(宮城十條林産(株))

ふるさと納税の返礼品やギフトとして全国へ

登米の木工品

写真提供: 登米町森林組合・道の駅津山 もくもくランド



▲サメのキーホルダー



▲組手什

工具不要、組み立て自在。東日本大震災・熊本地震の避難所で間仕切りや家具として活用



▲道の駅津山 もくもくランド 売り場

・北海道から九州、四国など全国各地から木工品への注文が殺到しています。商品を発送する際には三陸沿岸道路を活用しています。

・また、仙台方面や県外からのお客さんが増えていると実感しています。(道の駅津山 もくもくランド)



え

がおあふれる三陸へ!訪問介護の移動時間を短縮

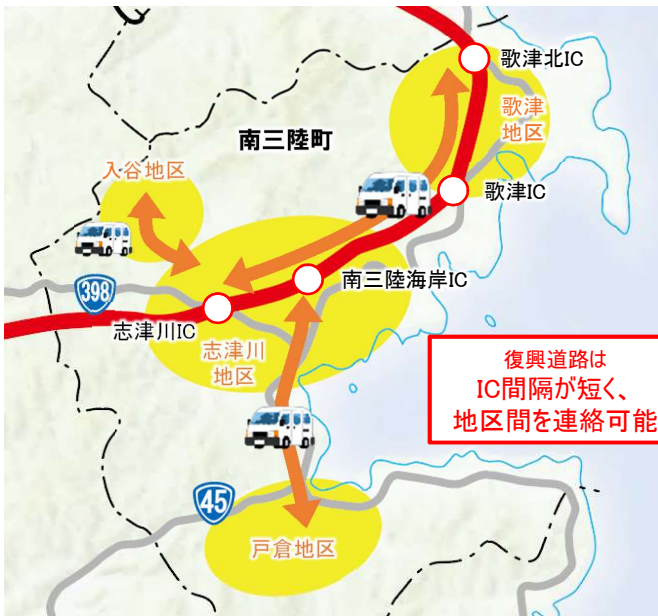


介護

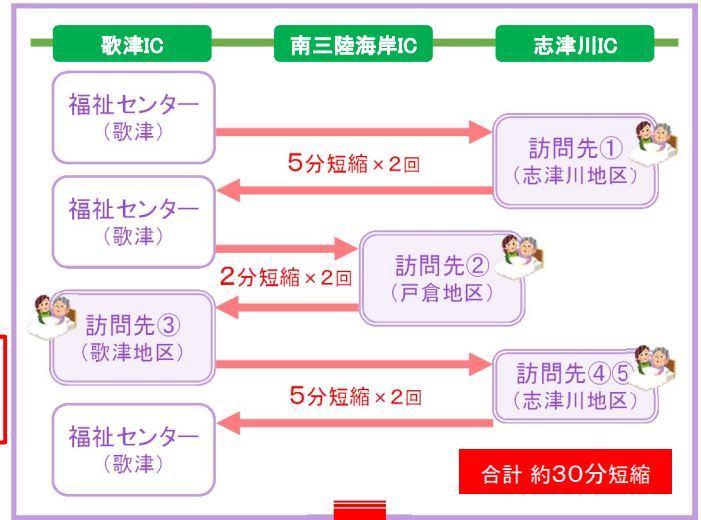
● 復興道路は、時間短縮により日常的な訪問介護の負担を軽減し、地域の豊かな生活を支える介護を応援しています!

地区間の訪問介護に復興道路活用

訪問介護ルート例(南三陸町内)



スケジュール例(南三陸町内)



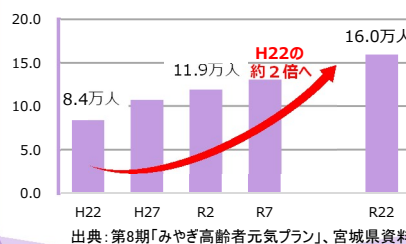
短い区間でも、1日に何度も利用することで、大きな時間短縮効果を創出

- ・訪問介護の際に、歌津ICを基点に復興道路を利用しています。
 - ・1人で1日に5件程度回りますが、限られたスタッフで事業を運営しているため、移動時間が短縮され助かっています。
- (南三陸町社会福祉協議会)

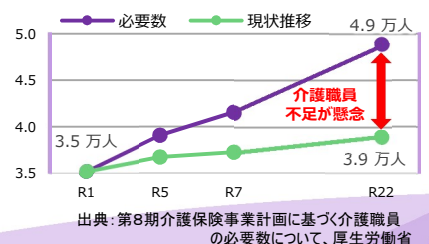


宮城県内の介護の現状

要介護認定者数の推移



介護職員の必要数と現状推移数のギャップ



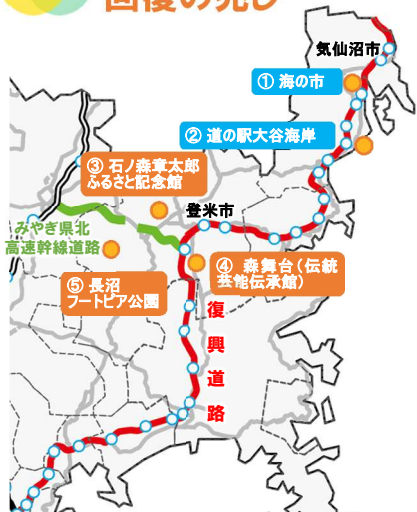


リピーター増加へ!三陸エリアの新たな観光戦略



● 復興道路は、沿岸エリアの誘客を促進し、アフターコロナの観光回復を応援しています!

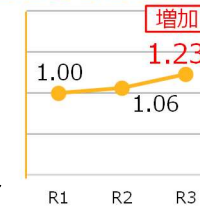
観光入込客数が回復の兆し



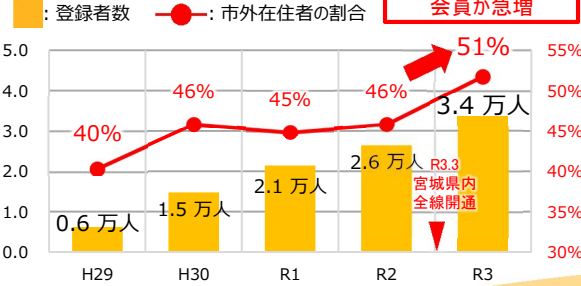
※観光入込客数は、各年10月のデータ(宮城県内の新型コロナまん延防止等重点措置(R3.9.13~30)の解除後の状況)
出典:気仙沼市、登米市



復興道路ができて、仙台圏や釜石から日帰りで気軽に来ていただけるようになりました。
((一社)気仙沼観光コンベンション協会)



リピーター増を目指して会員拡大



・新規登録者の増加は、復興道路の開通と道の駅大谷海岸オープンの効果が大きいと感じています。
・クルーカードの会員を増やして、会員へ情報発信を行い、もう一度気仙沼を訪れ、さらに宿泊してもらえるよう取り組んでいます。
((一社)気仙沼地域戦略)

出典:(一社)気仙沼地域戦略
※各年8月のデータ

